



FUKUROI PERSONAL FILE

お客さんの笑顔が励み

地元産の乳製品を食べに来てね

「Mota」の店 調理・販売員 兼子幸子さん（川会）



「お菓子づくりと接客の仕事が大好きなので、このお店で働いてみたかったんです。」

お客さんから、おいしかったよ、また買いに来るねって声をかけてもらって、すごくうれしかったです。」

3月末に袋井市大谷にオープンした乳製品直売店「Mota」。兼子幸子さん(24歳)は、地元の牧場からの搾りたて牛乳を使ったアイスクリームやプリンなどを販売するこの

店で、2人の先輩とともに調理や販売の仕事に携わっています。

高校を出た後、浜松の調理専門学校でパンやお菓子作りを学んだ幸子さん。卒業後は掛川市のお菓子屋に4年間ほど勤めていましたが退職し、この1年は市内の飲食店で接客の仕事をしていました。

ちょうどこのころ、「自分の牛乳を使った製品を地元で販売する店をオープンさせたい」と考え、準備を進めていたのが、地元三川の酪農家、太田忠行さんです。

専門学校でお菓子作りを学んだ幸子さんのことを、幸子さんのおじいさんが知人に話したところ、太田さんが聞きつけ家を訪問。「今度お店をオープンさせるから、プリンとキャラメルを

作ってみたいか」という話になり、店で働くことになりました。

「いろいろな縁があって、今ここで働かせてもらっています。買いに来てくれるお客さんや一緒に仕事をしているみんなを含め、周りの人への感謝の気持ちでいっぱいです。」

そんな幸子さんの店での担当は、プリンづくりと生キャラメルづくり、そして笑顔の接客です。朝は出勤後、前日から仕込んでおいたプリンをオープンで蒸すところから始まり、午前10時の開店からはお客さんへの接客。また時間を見つけては、キャラメルを煮詰めたり、プリンを店に並べる準備をしたり、閉店後には掃除・片付けや翌日の準備と、忙しい毎日を過ごしています。

出来上がった生キャラメルを切り分ける幸子さん

「今はお店がオープンしたばかりなので、まず目の前のことを一つ一つ確実にやっていきたいと思っています。子どもから大人まで、地域のたくさんの人に愛されるお店になるよう、頑張っていきたいです。皆さんも是非、お店に来てくださいね。」

グループ紹介 袋井で活動中

浮き絵・浮き字クラブ

●竹や木を生かした立体的な作品

竹や木板をステンレス製の電熱線で切って、絵や文字を立体的に浮きあげ、色を付けて仕上げる浮き絵。竹や木の持つ独特なやさしさを残したまま作品にできるのが魅力です。

毎月第2木曜日の午後1時30分～3時30分に浅羽南公民館で活動。細かい作業が多いですが、会員同士で会話したり、教え合ったりしながら、楽しく過ごしています。

作品に使う竹は、自分たちで取りに行き、1年間で1人3～5個の作品を作って、地域の公民館まつりに出展したり、浅羽図書館で展示したりするのも楽しみです。

見学は自由です。興味のある方は、ぜひお越しください。



浮き絵・浮き字クラブの皆さん

会員数 9人 代表 水谷朝夫さん（西同笠）
☎水谷朝夫さん ☎23-3893

「2月21日、ひかり公園(下山梨上)に
しだれ桜の木を植えました」
下山梨街づくり検討委員会

大きな木に育ちます(ついに)

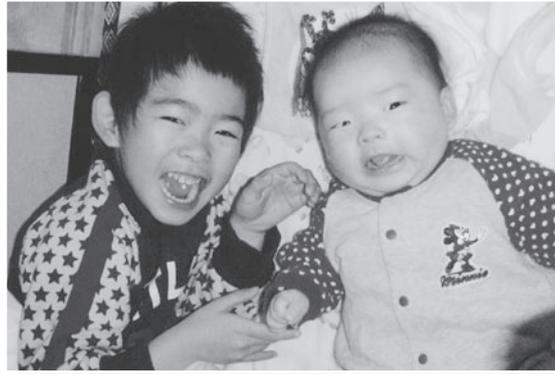


待ってます!

街の写真館

地域やサークルの行事、お気に入りの写真や子どもの写真などを郵送してください。写真には、タイトル、住所、氏名(ふりがな)、年齢(生年月日)、電話番号、自治会名を書き添えてください。

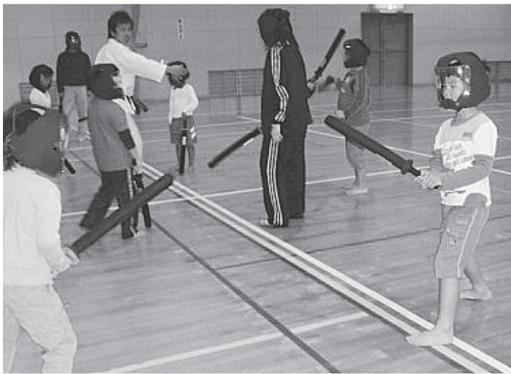
送り先 〒437-8666
袋井市役所秘書広報課広報広聴係



「オレの妹」
左から山本耀大君(4歳)、真羽ちゃん(4か月)浅羽山の手

新しく仲間入り

「毎週金曜日、袋井体育センターで行っている、スポーツチャンバラのメンバーを募集しています」
袋井体育センター(☎43-1790)



スポーツチャンバラに挑戦



春を感じながらウォーキング
『豊沢ふれあい、健康ウォーク』を行い、春を感じながらウォーキングを楽しみました」 豊沢自治会連合会

市政Q&A

Q? 珠算の全国大会に出場します。市から何か援助を受けられますか?

A! 市では、地区予選を経た文化芸術の全国大会などに出場する方に、激励金を交付しています。

対象 市内在住、在勤、在学で次の①～③のいずれかに出場する個人または、団体 ①国際大会②地区予選を経た省庁などが主催する全国大会③全国高等学校総合文化祭など

☎生生涯学習課生涯学習係 23-19268

※スポーツの全国大会に出場する場合も激励金が交付されます。詳しくは、本紙17ページをご覧ください。



ターで相談を行っています。気軽にご利用ください。

＜こころの相談＞

日 毎月第2木曜日(原則) 午後1時～4時
所 総合センター1階相談室
内容 こころの問題や悩み事の相談

◇詳しくは、本紙毎月15日号の市民相談窓口「こころの相談」をご覧ください。

☎市社会福祉協議会 43-33020

＜精神保健福祉総合相談＞

日 毎月第3木曜日(原則) ※要予約

時 午後1時30分～3時30分 (受付午後1時～2時30分)
所 西部健康福祉センター (中遠総合庁舎西館2階この相談室)

内容 不眠、気分が落ちこむ、物忘れなどの精神的な不調の悩みの相談
◇精神科医師、保健師、精神保健福祉士が相談にあたります。

☎市社会福祉協議会や 県西部健康福祉センター 37-2252

A! 市社会福祉協議会や 県西部健康福祉センター

Q? 心配事や心の病に關する悩みを抱えています。どこかで悩みを聞いてほしいのですが...